

ケニア国 太陽光発電を用いた水浄化普及・実証事業

株式会社ウェルシィ(東京都千代田区)

ケニア国の開発ニーズ

- 安全な水にアクセス可能な人口は61%、各戸給水は20%と低水準。
- 既存の浄水施設の能力低下、配水管網の老朽化と漏水、電力不足による断水は全国的な水不足の一因。
- 農村部では生活用水確保に係る労働負担や 未処理の水の飲用による水因性疾患の健康被害リスクが高い。

普及・実証事業の内容

- **実証事業**: 原水水質に合わせた浄水装置の設計・導入、維持管理までの一連の事業プロセスの実証と現地適用可能性の技術/事業検証及び評価。
- **技術移転**: 実証装置の運用に係る、現地及び日本での研修の実施。
- **普及事業**: 浄水装置の設置が可能な他ポテンシャルサイトの発掘と現地調査。
- **今後の事業展開案策定**: 中小規模の分散型給水に係るビジネスモデル開発・検証、現地パートナー発掘・業務提携に向けた検討。

中小企業の技術・製品



小規模分散型浄水装置

- ろ過膜を用いた高度な処理で、維持管理が容易。
- 対象水量・水質に合わせた装置構成が可能。
- 大規模インフラを補完する、中・小規模の分散型給水システム。
- 太陽光発電と併せれば無電化地域でも対応が可能。

ケニア国側に見込まれる成果

- 既存浄水場で安定的に処理できていないマンガンやアルミニウムなどの確実な除去による、安全な水の供給。
- 高度な水処理技術の技術移転による、現地人材の育成と維持管理能力の強化。

日本企業側の成果

現状

- 日本国内で民間及び公共施設を対象に、1,000件を超える導入・給水実績。
- 近年、海外市場への進出を検討。

今後

- ケニアの潜在顧客(給水事業関係機関や民間)に対する認知向上を図ると共に、普及展開に必要な詳細情報を収集する。
- 本事業を通じて策定した事業展開案を元に、将来の本格的なビジネス展開を推進する。